

I・O DATA

GigaCrysta

取 扱 説 明 書

4K対応27型ゲーミングモニター

LCD-GCU271XDB

HDMI

REGULATED VIDEO SOURCE

MANU000749

保証書は不要になりました

修理の際には、購入日の証明（レシート・納品書など）が必要です。
大切に保存してください。

表面

裏面

※添付品を確認する

※困ったときには

※台座を取り付ける

※液晶ディスプレイの回収・リサイ

※つなぐ

※イクル

※使う

※アフターサービス

※安全のために

※ハードウェア保証規定

※使用上の注意

添付品を確認する

□ 台座

□ HDMI ケーブル

□ 電源ケーブル

□ DisplayPort ケーブル

☑ 取扱説明書（本書）

台座を取り付ける

液晶パネル

台座

ネック

カチッ

カチッ

液晶パネル（表示面）が故障または破損する原因になります。

●本製品を床などに落とさない

●液晶パネルを傷つけない

●液晶パネルを手で押さえない

平らなところに柔らかい布などを敷き、液晶パネルを下にして置く

台座をグッと押し込む
⇒カチッ、カチッと音がして、台座が固定されます。
(ツメが 2 か所あります)
※台座には向きがあります。
押し込めない場合は、逆向きをお試しください。

モニターアーム（VESA）に取り付ける

- 固定用ネジ:M4×10mm
(モニターアームの金具の厚みにより異なる)
- 本製品質量:約5.6Kg(ネック・台座除く)
- VESAマウントインターフェース:100mm×100mm
- 締付けトルク:0.9~1.1N・m(9~11kgf・cm)
- 最大上下傾き:上20°、下5°

※ドライバーを使ってネジを締付けてください。スパナなど他の工具で締付けると、ネジ穴が破損する恐れがあります。

台座とネックを取り外す方法

台座を取り外す

ネックを取り外す

つなぐ

1 パソコンや映像機器とつなぐ

映像出力の端子にケーブルをつなぐ

HDMIケーブル

DisplayPortケーブル

映像入力端子とつなぐ

HDMI 1/2

DP(DisplayPort)

映像入力端子と解像度

本製品は、最大解像度 3840x2160 (60Hz) に対応しています。

2 電源コンセントとつなぐ

「AC POWER IN」に奥までしっかりと差し込む

青点灯

電源入

オレンジ点灯

節電状態

消灯*

電源切

※設定によっては、電源入や節電状態でも消灯するようにできます。

ご注意:アースについては以下を守る

●必ずアースをつないでから、電源プラグをコンセントにつなぐ

●電源プラグを抜いてから、アースを外す

守らないと、発火・感電の原因になります。

3 必要なら、外部スピーカーとつなぐ

「LINE OUT」とつなぐ

スピーカー側で音量を調節してください

LINE OUT から出力する音量は一定です。

使う

ボタンの操作方法

各マークの真裏より少し上にあるボタンを押して操作します。

電源を入れる／切る

⏻ ボタンを押します。

電源ランプについて

電源ランプ

青点灯

電源入

オレンジ点灯

節電状態

消灯*

電源切

※設定によっては、電源入や節電状態でも消灯するようにできます。

表示する映像を切り換える(入力切換)

- ① 4つの▼ボタンの内、どれかを押します。
- ② [入力切換]のボタンを押します。
- ③ 表示する映像を入力端子名で選びます。

音量を調節する

- ① 4つの▼ボタンの内、どれかを押します。
- ② [音量]のボタンを押します。
- ③ 音量を調節します。

画面の明るさ(輝度)を調節する

- ① 4つの▼ボタンの内、どれかを押します。
- ② [輝度]のボタンを押します。
- ③ 輝度を調節します。

その他の機能について

USB SERVICE

システム更新に使用します。通常は使いません。

EAR PHONE

ヘッドホンとつなぐ

※ヘッドホンを耳に付けたままつながないでください。

盗難対策をする

盗難対策に Kensington 製ロックを取り付けられます。

スピーカー

安全のために

お使いになる方への危害、財産への損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくための注意事項を記載しています。ご使用の際には、必ず記載事項をお守りください。

▼ 警告および注意表示

⚠ 警告

この表示の注意事項を守らないと、死亡または重傷を負うことがあります。

⚠ 注意

この表示の注意事項を守らないと、けがをしたり周辺の物品に損害を与えたりすることがあります。

▼ 絵記号の意味

⊘ 禁止

⚠ 指示を守る

⚠ 警告

⊘ 本製品を修理・分解・改造しない

発火や感電、破裂、やけど、動作不良の原因になります。

⊘ 雷が鳴り出したら、本製品や電源コードには触れない

感電の原因になります。

⊘ 本製品をぬらしたり、水気の多い場所 で使わない

水や洗剤などが本製品にかかる と、隙間から浸み込み、発火・感電の原因 になります。

●お風呂場、雨天、降雪中、海岸、水 辺で使う際は、特に注意する

●水の入ったもの（コップ、花びんなど） を上に置かない

●万一、本製品がぬれてしまった場合 は、絶対に使わない

⊘ 添付の電源コードは、他の機器につな がない

発火や感電の原因になります。添付 の電源コードは、本製品専用です。

⊘ 電源コードは、添付品または指定品の ものを以外を使わない

電源コードから発熱したり、発火の原因 になります。

⊘ じゅうたん、スポンジ、ダンボール、 発泡スチロールなど、保温・保湿性の 高いものの近くで使わない

発火の原因になります。

⚠ 本製品に放熱を妨げるような物を 置かない

発火の原因になります。

⊘ 本製品の周辺に放熱を妨げるような物 を置かない

発火の原因になります。

⊘ AC100V (50/60Hz) 以外のコンセント につながない

発熱、発火の原因になります。

⚠ 煙が出たり、変な臭いや音が出たら、す ぐにコンセントから電源プラグを抜く

そのまますぐに発火・感電の原因になり ます。

⚠ 接地接続に以下以下を守る

接地接続は必ず電源プラグを電源につ ながる前に接続してください。また接地 線を外す場合は、必ず電源プラグを電 源から切り離してから行ってください。

使用上の注意

■設置箇所について

高所に設置しないでください。万が一本体もしくは部品が落下した場合、けがの原因になります。

■画面の焼き付きを防ぐために

同じ画面を長時間表示させていると画面の焼き付きを起こすことがあります。

●パソコンやディスプレイを使用しないときは電源を切る。

●なるべく、省電力機能またはスクリーンセーバー機能を使う。

■お手入れ方法

本製品についた汚れなどを落とす場合は、電源コードを抜いてから、柔らかいきれいな布で軽く乾拭きしてください。

●汚れがひどい場合は、水で十分に薄めた中性洗剤に布をひたして、よく絞ってから汚れを拭き取り、最後に乾いた布で拭いてください。

●ペンジン、シンナー、アルコール、消毒薬、化学ぞうきん、クリーナー/クリーニングペーパーなどは使わないでください。

●変質やひび割れなどの原因になります。

●液晶パネルに水滴などをつけたまま放置しないでください。水滴などがついた場合はすぐに乾いた柔らかい布などで拭き取ってください。

●放置しておく液晶パネルが変色したり、シミの原因になります。また、水分が内部へ入ると故障の原因になります。

■バックライトについて

本製品は、24時間連続使用を前提とした設計ではありません。画面が暗くなったり、チラついたり、点灯しないときは、新しい液晶パネルへの交換が必要です。

※ご自分での交換は絶対にしないでください。交換等につきましては、弊社サポートセンターへお問い合わせください。

※液晶パネルは非常に高価です。有料による液晶パネル交換は高額になることをあらかじめご了承ください。

■その他

●直射日光が当たる場所で使用・保管しないでください。変形や変色の原因になります。

●お使いにならないときは、ほごが入らないようカバーなどをかけてください。

●台座を持って本製品を移動させないでください。

●液晶パネルの周囲を押さたり、その部分に過度の負担がかかる状態で持ち運んだりしないでください。液晶パネルが破損する恐れがあります。

●液晶パネル上に減点(点灯しない点)や塵点(点灯したままの点)がある場合があります。これは、液晶パネル自体が99.999%以上の有効画素と0.001%の画素欠けや塵点をもつことによるものです。故障、あるいは不良ではありません。修理交換の対象とはなりませんので、あらかじめご了承ください。

●見る角度や温度変化によっても色むらや明るさのむらが見える場合があります。これらは、故障あるいは不良ではありません。修理交換の対象とはなりませんので、あらかじめご了承ください。

■有寿命部品について

●本製品には、有寿命部品(バックライト、アルミ電解コンデンサなど)が含まれています。

●有寿命部品の寿命は、使用頻度や使用環境(温湿度など)等の条件により異なります。

●本製品は、一般家庭やオフィスでの使用を想定して設計されていますので、それ以外の環境でご使用される場合は、寿命が短くなる場合があります。

■連続使用について

本製品は、24時間連続使用を前提とした設計ではありません。有寿命部品の消耗を加速させる原因となりますので、24時間連続でのご利用は避けてください。

困ったときには

弊社サポートページをご確認ください

<https://www.iodata.jp/support/qa/lcd/>



音が出ない

- パソコンでお使いの場合
Windows
① 通知領域のスピーカーアイコンを右クリック
② [サウンド]をクリック
③ [再生]タブをクリック
④ 本製品を選び、[規定値に設定]をクリック
macOS
① システム環境設定の[サウンド]をクリック
② [出力]タブをクリック
③ 本製品を選ぶ
●機器側の音量を確認してください。
●本製品の音量を確認してください。
●ヘッドホン・外部スピーカーをつないでいる場合、
本製品のスピーカーから音は出ません。

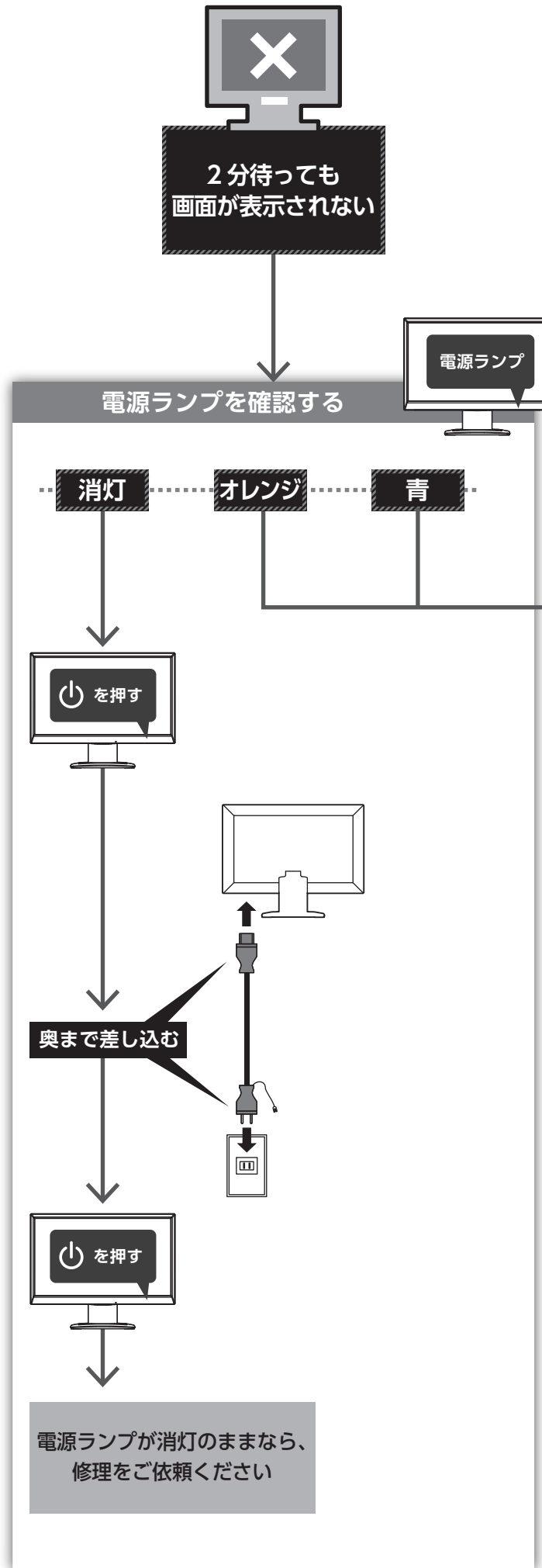
Windows で文字の大きさを調節したい

こちらをご覧ください。



ドット抜けがある（赤や緑などの動かない点がある）

液晶パネルが 0.001%未満の画素欠けや輝点を持つことによるもので故障ではありません。
修理交換対象になりませんので、ご了承ください。



画面の色がおかしい
全体に黄色や青がかっている

本製品をリセットする

メインメニューの [メニュー表示]→[リセット]をお試しください。

改善しないなら…

接続を確認する

1 パソコン / 映像機器と本製品の間のケーブルを、奥までしっかりと差し込み直す



2 入力切替で、映像を表示する入力端子名を選ぶ

ノートパソコンの場合
ノートパソコンの取扱説明書で「外部モニターへ出力する設定」をご確認ください。

数分待っても改善しないなら…

シンク設定を変更する
[シンク設定]を変更してください。
※画面に [シンク設定] が表示されていない場合は、次に進んでください。

改善しないなら…

パソコン / 映像機器を再起動する

改善しないなら…

サポートセンターにお問い合わせください



縦長 / 横長になる
ぼやける

解像度を設定する

1 デスクトップを右クリック

2 [ディスプレイ設定]をクリック
※Windows 8 では、[画面の解像度]をクリック後手順 2へ

3840×2160 に設定

画面例：Windows 10

液晶ディスプレイの回収・リサイクル

弊社では製品のリサイクルの容易さや電力消費の抑制など環境負荷を軽減する製品開発を進めています。
液晶ディスプレイ製品の回収・リサイクルにご協力をお願いいたします。

法人のお客様は

弊社では、法人のお客様がご不要になった弊社製液晶ディスプレイの回収・リサイクルのご案内や料金のお見積もりをおこなっております。
詳細は、下記弊社 Web ページをご覧ください。

■お申し込み窓口

https://www.iodata.jp/recycle_h/

ご家庭でお使いのお客様は

弊社では「資源有効利用促進法」にもとづき、ご家庭で排出される弊社製液晶ディスプレイのリサイクルを実施しています。
回収された液晶ディスプレイは、新たな資源として生まれ変わります。
この取り組みを通じて、弊社はユーザーの皆様とともに地球環境保全の活動を進めてまいります。弊社が無料で回収・再資源化いたします。
お申し込みについては、下記弊社 Web ページをご覧ください。

■お申し込み窓口

https://www.iodata.jp/recycle_k/

【VCCI 規格について】

この装置は、クラスB機器です。この装置は、住宅環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。
VCCI-B

【J-Moss について】

この装置は、「電気・電子機器の特定の化学物質の含有表示方法（JIS C 0950）」、「電気・電子機器の特定の化学物質に関するグリーンマーク・ガイドライン」に基づきグリーンマークを表示しております。化学物質の含有情報は以下をご覧ください。
<https://www.iodata.jp/jmoss/>

【ユーザー登録はこちら】…<https://iportal.iodata.jp/>

ユーザー登録にはシリアル番号（S/N）が必要となりますので、メモしておいてください。
シリアル番号（S/N）は本製品貼付のシールに印字されている 12 桁の英数字です。
（例：ABC1234567ZX）

【商標について】

●記載されている会社名、製品名等は一般に各社の商標または登録商標です。
●HDMI、HDMIのロゴ、High-Definition Multimedia Interface は HDMI Licensing Administrator, Inc. の商標または登録商標です。

【商品アンケートはこちら】

お気づきの点がございましたら
アンケートにご協力願います。



アフターサービス

重要

- 本製品の修理対応、電話やメール等によるサポート対応、ソフトウェアのアップデート対応、本製品がサーバー等の一時的サービスを利用する場合、そのサービスについては、弊社が本製品の生産を完了してから5年間を目途に終了とさせていただきます。ただし状況により、5年以前に各対応を終了する場合があります。
- 個人情報 報 は、株式会社アイ・オー・データ機器のプライバシーポリシー（<https://www.iodata.jp/privacy.htm>）に基づき、適切な管理と運用をおこないます。

お問い合わせ方法

まずは、サポートページをご確認ください



<https://www.iodata.jp/support/qa/lcd/>

それでも解決できない場合は、サポートセンターへ

050-3116-3019

受付 9:00～17:00 月～日曜日
（年末年始・夏期休業期間をのぞく）



※お問い合わせいただく際は、商品の型番をご用意ください。

<https://contact.iodata.jp/sp/inquiry/display>

修理の流れ

保証期間 5 年間

①	②	③	④	⑤	⑥
修理申込 (申込番号発行)	修理センター に送付	検査	有償時のみ 見積連絡	修理	修理品 返送

①Webで修理申込をおこなってください

【重要】修理申込をおこなうと、申込番号が発行されます。

<https://www.iodata.jp/support/after/repair/>



※Webページから修理申込がおこなえない場合は、申込番号の代わりに[名前・住所・TEL（FAX）・E-Mail・症状]を書いたメモを商品に同梱してお送りください。

②以下を修理センターに送付してください

- ☐ 商品一式
- ☐ 手順①で発行された申込番号を書いたメモ
- ☐ レシートや納品書など、購入日を示すもの

〒920-8513 石川県金沢市桜田町2丁目84番地
(株)アイ・オー・データ機器 修理センター宛
TEL 076-260-3617

※紛失をきたため宅配便でお送りください。
※送料は、発送時はおお客様ご負担。返送時は弊社負担です。
※最重に梱包してください。弊社到着までに破損すると有料修理となる場合があります。
※液晶ディスプレイ製品の場合、パネル部分を持つとパネル内部が破損します。取扱いには、充分注意してください。
※修理の進捗状況は上記Webページでご確認いただけます。（申込番号で検索）

ハードウェア保証規定

弊社のハードウェア保証は、ハードウェア保証規定（以下「本保証規定」といいます。）に明示した条件のもとにおいて、アフターサービスとして、弊社製品（以下「本製品」といいます。）の無料での修理または交換をお約束するものです。

1 保証内容

取扱説明書（本製品外箱の記載を含みます。以下同様です。）等にしたがった正常な使用状態で故障した場合、お買い上げ日が記載されたレシートや納品書をご提示いただく事により、お買い上げ日より5年間（ただし、本製品の使用時間が30,000時間を超えないこと）無料修理または弊社の判断により同等品へ交換いたします。

2 保証対象

保証の対象となるのは本製品の本体部分のみとなります。ソフトウェア、付属品・消耗品、または本製品もしくは接続製品内に保存されたデータ等は保証の対象とはなりません。

3 保証対象外

- 以下の場合は保証の対象とはなりません。
 - 1) 本製品の故障もしくは使用によって生じた本製品または接続製品内に保存されたデータの毀損・消失等について、弊社は一切の責任を負いません。重要なデータについては、必ず、定期的にバックアップを取る等の措置を講じてください。
 - 2) 本製品に故意または重大な過失がある場合を除き、本製品に関する弊社の損害賠償責任は理由のいかんを問わず製品の価格相当額を限度といたします。
 - 3) 本製品に隠れた瑕疵があった場合は、この約款の規定に関わらず、弊社は無償にて当該瑕疵を修理し、または瑕疵のない製品または同等品に交換いたしますが、当該瑕疵に基づく損害賠償責任を負いません。
- 4) 修理に代えて交換を選択した場合における本製品、もしくは修理の際に交換された本製品の部品は弊社にて適宜処分いたしますので、お客様へお返しいたしません。
- 5) 保証有効範囲

弊社は、日本国内のみにおいて本保証規定に従った保証を行います。本製品の海外での使用につきましては、弊社はいかなる保証も致しません。
Our company provides the service under this warranty only in Japan.